

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2026年1-3月期（概要版）〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は331社から回答があった。景況判断DIは▲18となり、前期調査から10ポイント改善した。来期の見通しは▲33となり、15ポイント悪化する見込みとなっている。

経営上の問題点の回答割合は、「修理、修繕費等の増加」の回答割合が最も高く、「従業員の不足」、「人件費の増加」の順となっている。

以下、その他業況感DIの内訳

前期(2025年10-12月)に対して、

- ・売上高DIは▲7で、18ポイント悪化
- ・処理量DIは▲18で、23ポイント悪化
- ・営業利益DIは▲5で、5ポイント悪化
- ・資金繰りDIは▲2で、同水準
- ・借入難易度DIは10で、4ポイント悪化
- ・設備投資DIは4で、1ポイント悪化
- ・従業員数DIは▲3で、4ポイント悪化
- ・契約単価DIは、収集運搬が12で、6ポイント改善
処分が11で、3ポイント改善

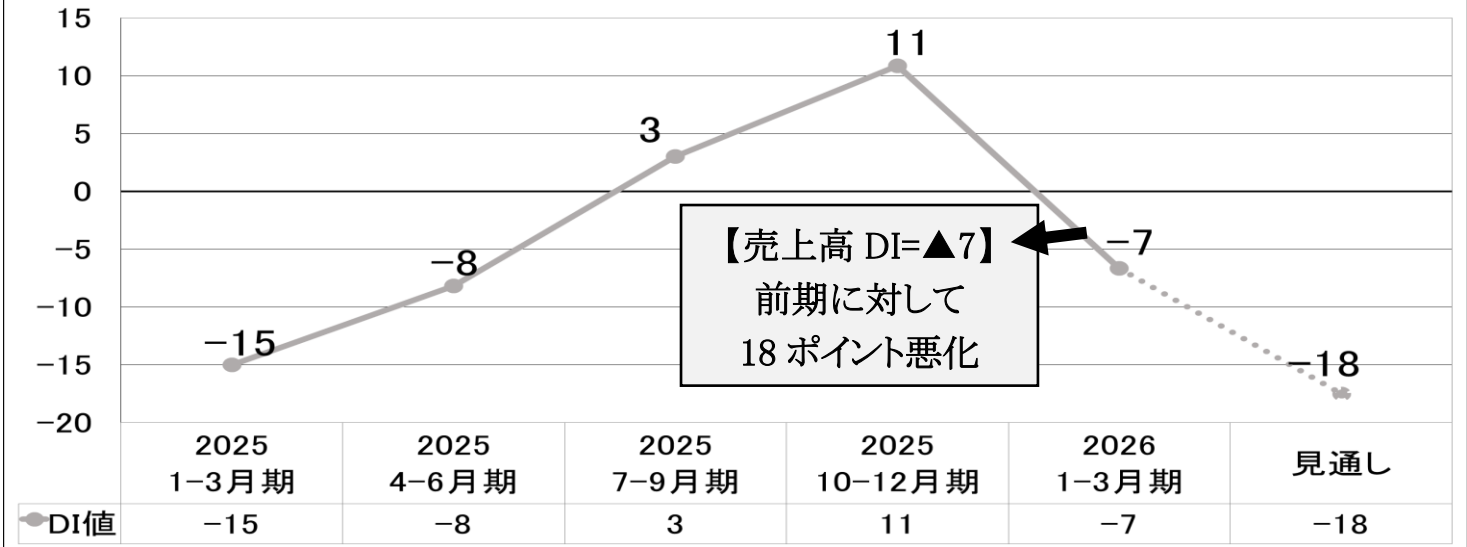
- 売上高の動向については、前年同期比で4.2%減となった。
- 処理量の動向については、前年同期比で17.9%減となった。
- 経常利益率については、前年同期比で1.6%減となった。

※DIとはディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で「好転」・「増加」したなどとする企業割合から「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

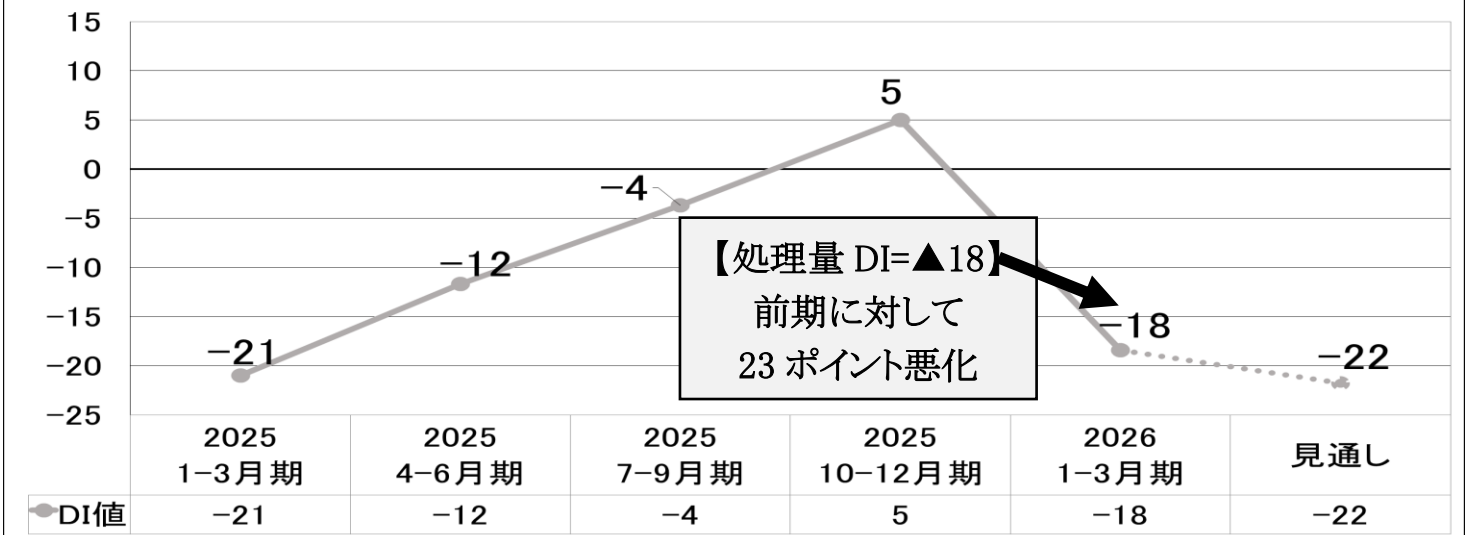
〔調査の要領〕

- 全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員
- 調査の方法:Webによるアンケート
- 調査期間:2026年4月1日～4月30日
- 回答企業数:331社

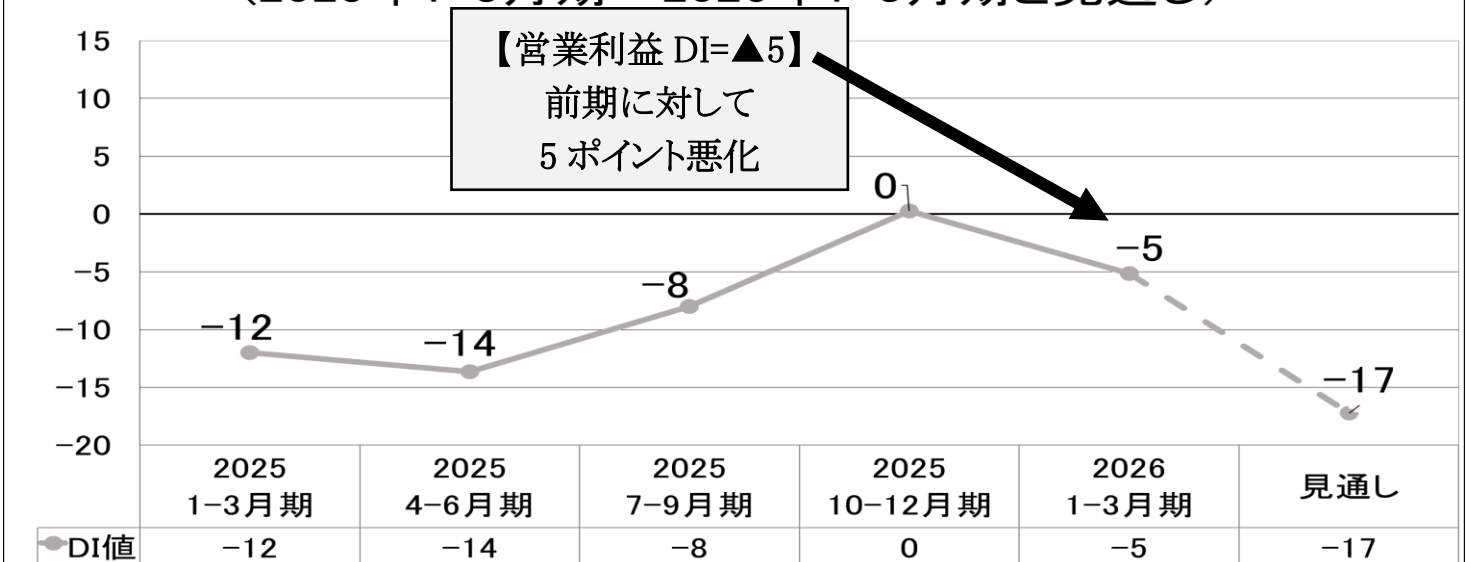
売上高DI (2025年1-3月期～2026年1-3月期と見通し)



処理量DI (2025年1-3月期～2026年1-3月期と見通し)

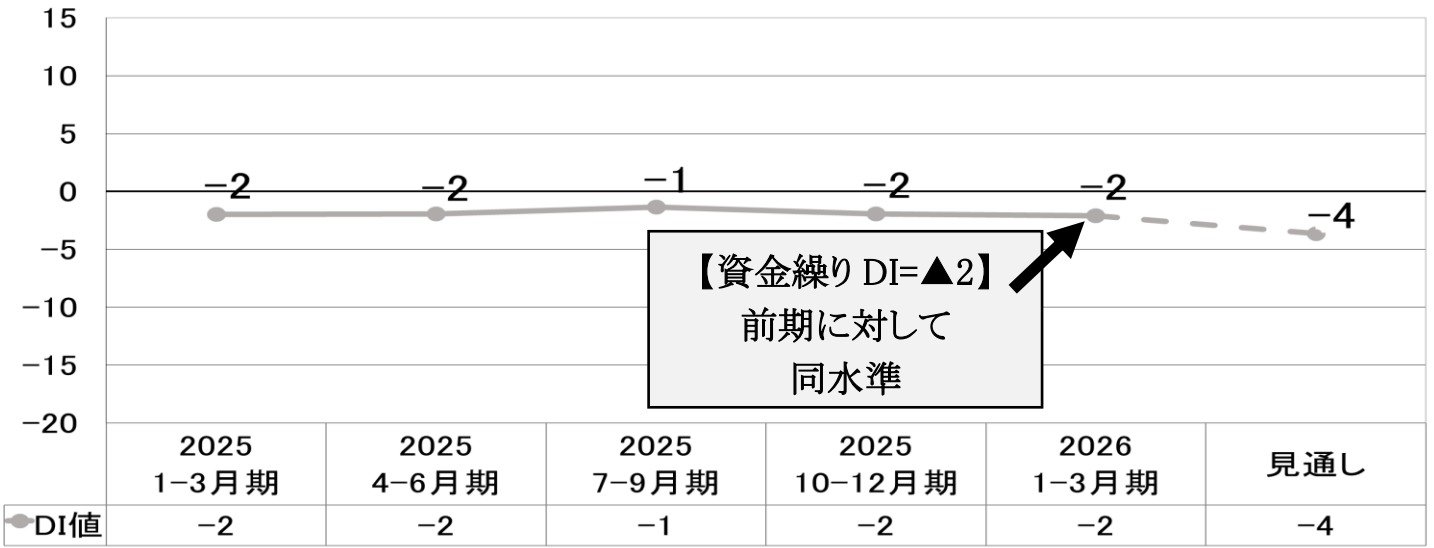


営業利益DI (2025年1-3月期～2026年1-3月期と見通し)



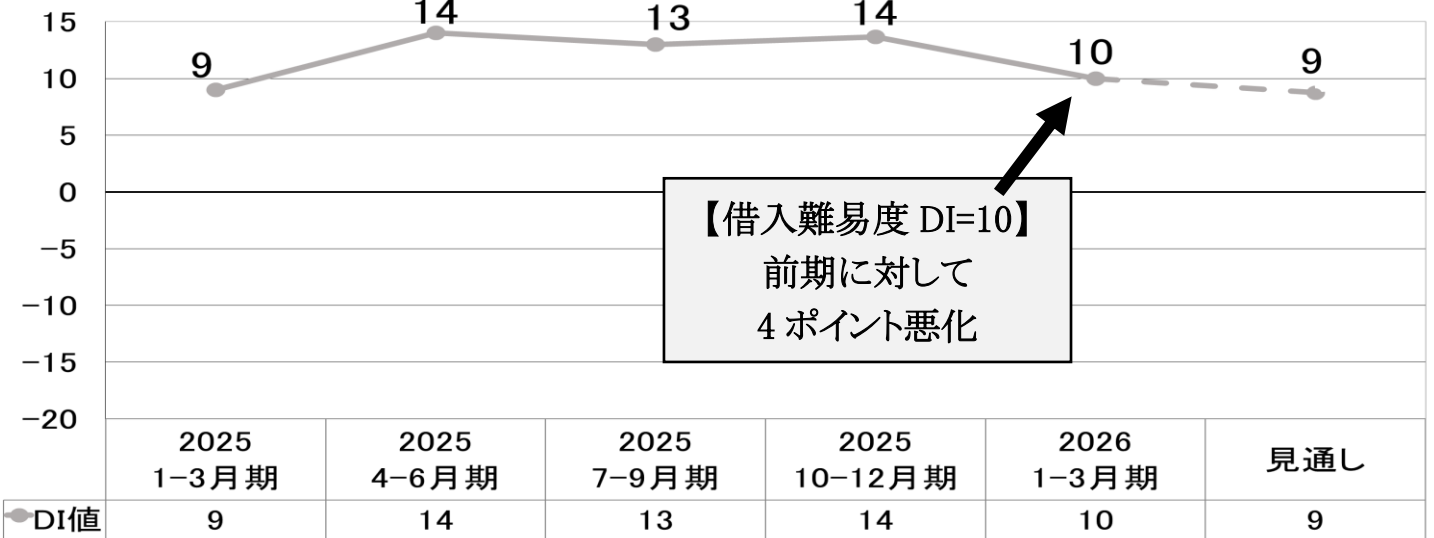
資金繰りDI

(2025年1-3月期～2026年1-3月期と見通し)



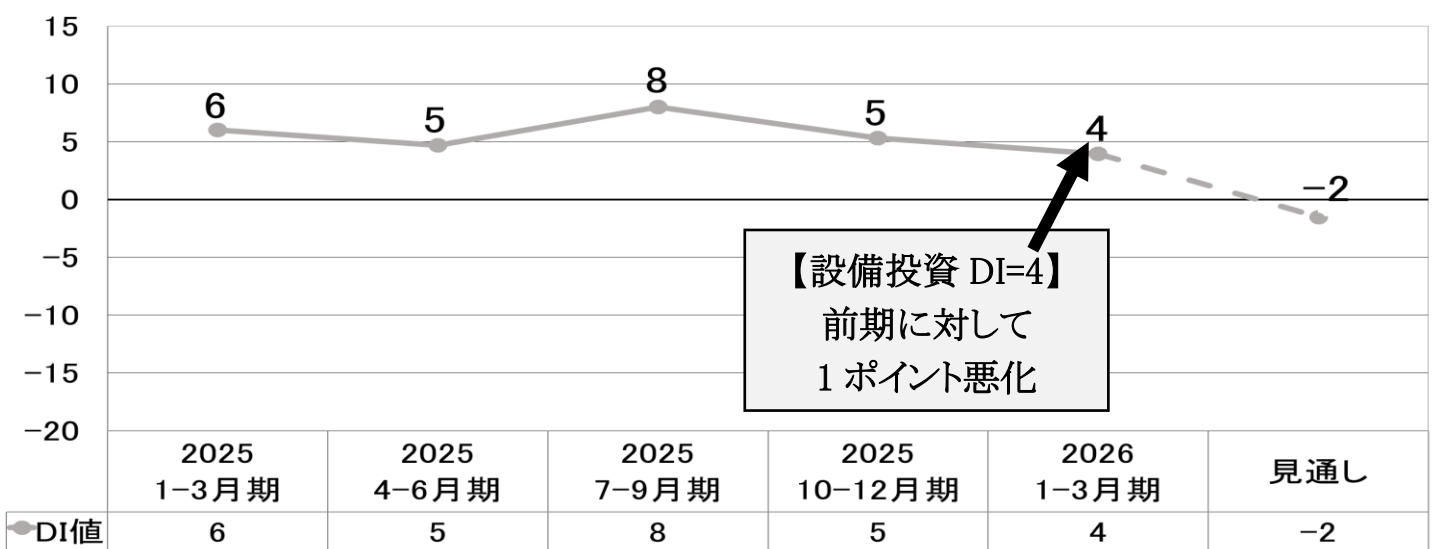
借入難易度DI

(2025年1-3月期～2026年1-3月期と見通し)

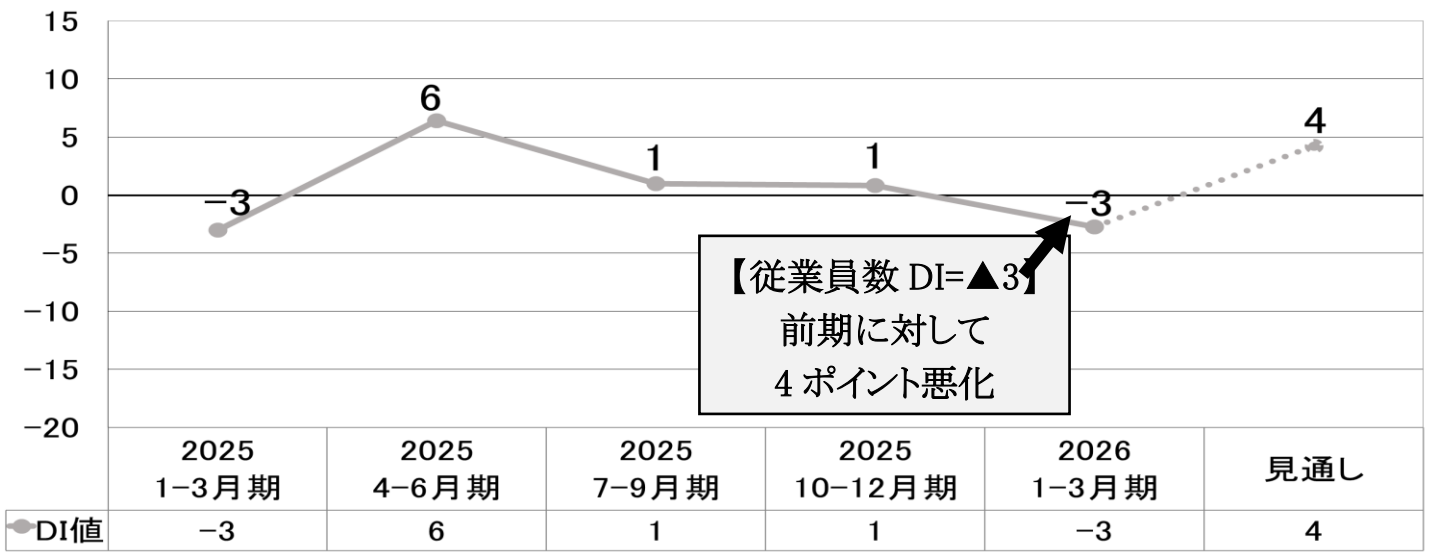


設備投資DI

(2025年1-3月期～2026年1-3月期と見通し)



従業員数DI (2025年1-3月期～2026年1-3月期と見通し)



【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】

